



平成28年10月19日
海上保安庁

西之島の海図作製のための調査を行います

海上保安庁では、10月22日から11月10日の間、測量船「昭洋」及び航空機「MA725」により、西之島及びその周辺海域において水深等の調査を行います。

西之島では、平成25年11月に噴火を開始しましたが、平成27年11月を最後に噴気等は確認されておらず、静穏な状態が続いています。これまでに噴出した溶岩等により新しく形成された陸地は、噴火前の旧西之島をほぼ覆い尽くすまで拡大しました。

今回の調査は、西之島周辺海域の航行船舶の安全を確保するための海図を作製することを目的として実施するもので、水深調査を行うとともに、航空機による航空レーザー測量を行います。本調査にあわせて国土地理院職員が乗船し、国土地理院による地図作製のための調査も行うこととしております。また、調査に際しては、衛星測位観測や潮汐観測等、上陸を伴う作業を行います。

なお、海上保安庁では、平成27年6月22日から7月10日の間、当庁測量船「昭洋」搭載の無人調査艇により、西之島から約200m以遠の海域において水深の調査を実施しました（図1）。

1. 調査期間

平成28年10月22日（土）～11月10日（木）の20日間

2. 使用船舶及び航空機（図2）

海上保安庁海洋情報部所属 測量船「昭洋」（3000トン）及び搭載艇
第三管区海上保安本部羽田航空基地所属 航空機「MA725」

3. 主な調査内容（図3）

- 沿岸部の水深調査：西之島周辺海域において測量船搭載の機器により音波で水深を測る。
- 航空レーザー測量：航空機搭載の機器により、西之島周辺のごく浅い海域の水深、海岸線等のデータを取得する。

【参考】

最近（平成 28 年 9 月 15 日）の観測時点での西之島の形状（暫定値）

- ・東西：約 1,900 m
- ・南北：約 1,900 m
- ・面積：約 2.68 平方 km（東京ドームの約 57 倍、噴火前の西之島の約 12 倍）

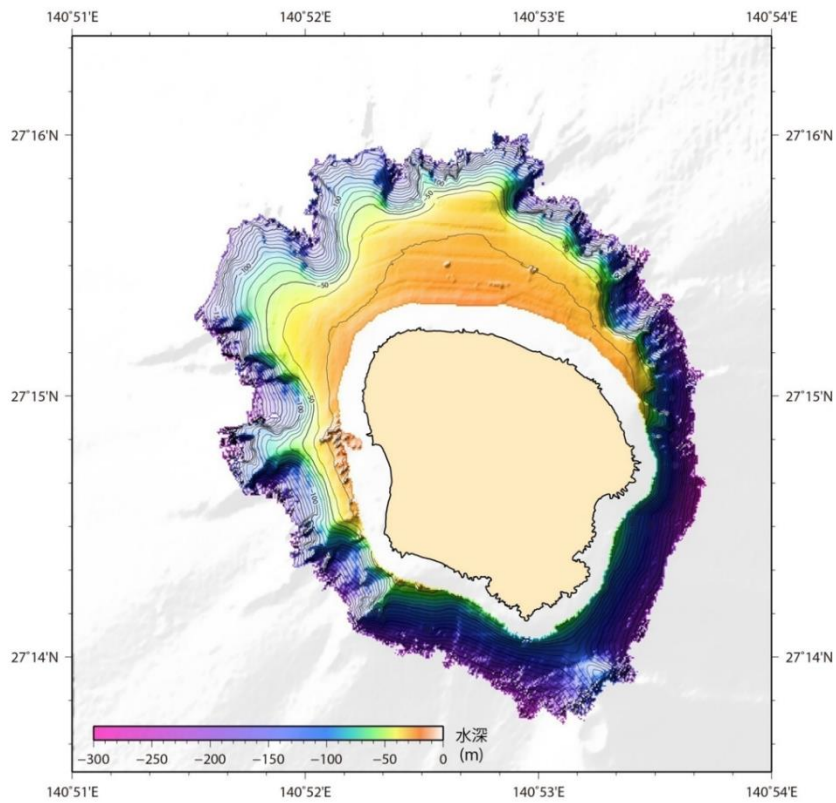


図 1 昨年の無人測量船「マンボウⅡ」による水深調査の結果

測量船「昭洋」

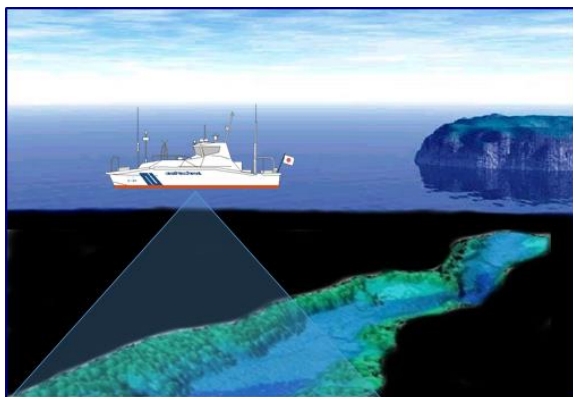


航空機「MA725」



図2 調査に使用する船舶及び航空機

沿岸部の水深調査



航空レーザー測量

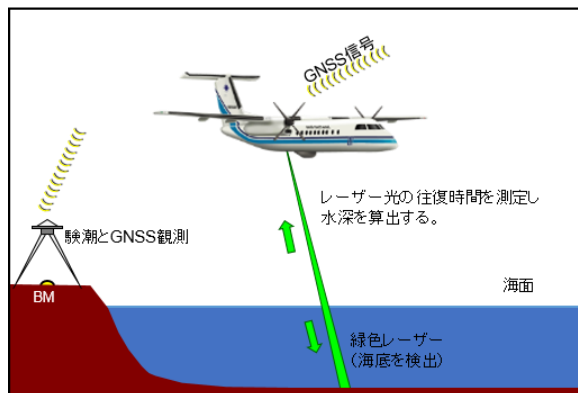


図3 主な調査内容